

商業科（課題研究）学習指導案

指導者 教諭 ○○ ○○ 印

- 1 履修単位数 3単位
- 2 実施日時 令和 3年 ○月 ○日 第○時限
- 3 学 級 ○○HR ○○名
- 4 使用教科書 自作プリント（参考教科書：マーケティング 新訂版・実教出版）
- 5 単 元 名 「ポートフォリオ分析を行い、将来の投資戦略を考えてみよう」
- 6 単元設定の理由
 - (1) 生徒観 様々なことに興味を持って取り組むことができる。また、グループで活動することで、より活発な意見やアイディアを出すことができる。
 - (2) 教材観 生徒が実際に知っている企業で、その商品の多くを1度は購入したことがあり、興味をもって学習に取り組みやすい。また、学習後にも学習内容の振り返りをしながら、生活の中で知識の定着を図ることのできる教材である。
 - (3) 指導観 2年次にクラスの約半数は「マーケティング」を選択科目で履修し、学習した内容である。履修した生徒は実際に自分たちで分析をすることで、技能、知識・理解をより深く定着させる。履修していない生徒は、履修した生徒と助け合い、分析することで、技能、知識・理解の習得をする。

7 単元の目標

- (1) 様々な資料を参考にして、ポートフォリオ分析を行うことができる。
- (2) ポートフォリオ分析を参考にして、将来の投資戦略を考えることができる。

8 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
ポートフォリオ分析について関心をもち、学習活動に主体的に取り組もうとしている。	ポートフォリオ分析について思考を深め、適切に判断し、表現する力を身につけている。	様々な資料を適切に読み取ることができ、ポートフォリオ分析を行うことができる。	企業の製品群または製品を、貢献度等を基準に4つの分類に分けたものがポートフォリオ分析であることについて理解しようとしている。

9 指導と評価の計画

- 第1次 ポートフォリオ分析をしてみよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間（本時）
 第2次 ポートフォリオ分析から各製品への投資戦略を考えてみよう・・・・・・1時間

	【ねらい】・◆学習活動	評価の観点				評価規準・評価方法
		関	思	技	知	
第1次	様々な資料を参考にして、適切にポートフォリオ分析を行う。			◎	◎	様々な資料を読み取り、適切なポートフォリオ分析を行うことができる。
第2次	ポートフォリオ分析を参考にして、企業の製品への投資戦略を考える。	◎	◎			積極的に戦略案を出している。また、ポートフォリオ分析を参考にして、企業の製品への投資戦略を適切に考えることができる。

10 本時の指導目標

- (1) 市場占有率と市場成長率を適切に読み取ることができる。
- (2) 適切なポートフォリオ分析を行うことができる。

1 1 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
導入 (5分)	・本時の学習内容の説明を聞く。	・本時の学習内容を説明する。		
展開 (40分)	・「株式会社明治」について理解する。 ・市場占有率と市場成長率についての説明を聞き、各自のタブレットで、市場占有率と市場成長率を読み取る。 ・ポートフォリオ分析についての説明を聞き、ポートフォリオ分析をグループで考える。 ・グループの代表者が分析した内容を発表する。 ・本時の学習を振り返り、感想を記入する。	・会社概要や取扱商品について理解させる。 ・市場占有率と市場成長率を混同しないように読み取らせる。 ・グループになって、ポートフォリオ分析を考えさせる。 ・他のグループの発表をしっかりと聞き、要約等を記入させる。 ・箇条書きでもよいので、記入させる。	・市場占有率と市場成長率を適切に読み取ることができる。 (技能) ・様々な資料と基準を参考にして、適切なポートフォリオ分析を行うことができる。 (知識・理解)	・発問 ・観察 ・発問 ・観察 ・発表
まとめ (5分)	・本時の学習内容を確認するとともに、次時の学習内容について知る。	・ポートフォリオ分析の方法を確認するとともに、次時の学習内容を確認する。		